

## 地場企業・山口県の取り組み

トヨタ自動車九州の能力増強は、地場企業にも有形無形の恩恵をもたらしてきた。特に今まで自動車産業に積極的に参画していなかった企業の参入意欲が増している。

山崎工業(福岡県苅田町)と岡谷鋼機は2008年春に合併で、生産設備の補修・改造を手がけるワイオームカニカルソリューションズ(同)を設立、トヨタグループの設備補修事業

を始めた。資本金は1000万円。山崎工業が86%、残りを岡谷鋼機が出資し

品大手のファルテック(川崎市幸区)と合併で、樹脂めっきの新会社いしかわフ

## 新規参入、県が後押し

た。品質の高いサービスをスピーディーに提供することで、関連企業の地元対応ニーズにこたえるのが目的。

また石川金属工業(北九州市小倉北区)も自動車部

アルテック(北九州市小倉北区)を設立、ラジエーターグリルなど大型自動車部品めっき加工を始めた。いしかわファルテックは九州・山口にある自動車メーカーすべてへの商品供給を

目的にした「やまぐちブランド技術研究会」を立ち上げた。産学官が連携して自動車やIT産業への参入に必要な5つの技術分野で研究開発を進めるのが目的だ。

目指している。

一方福岡県と隣接し、マツダ防府工場(山口県防府市)が操業する山口県も自動車産業には熱心だ。同県は08年6月、県内中小製造業の育成と基盤技術強化を

山口県はトヨタ自動車九州がある北部九州から近く、高速道路や空港、港湾施設も整っている。沿岸部には大手化学メーカーのコンビナートが並ぶなど進出企業は多く、若年労働者も豊富。これら有力インフラを武器に自動車関連企業・人材の育成を図り、自動車業界に貢献していく考えだ。

**トヨタ自動車**  
**特集**